

令和8年度 にのみや学園二宮町立二宮中学校

学校経営グランドデザイン

学校教育目標

学び合い 支え合う 誰もが幸せな学校

家庭・地域・学校が、それぞれの強みを持ち寄り、
生徒の成長を共に支え合いながら見守る姿を目指します。

学校経営の重点

誰一人取り残さない集団づくり

「認め合い、高め合う」という小中一貫教育目標を基盤に、自他の大切さを認め、具体的行動としての「学び合い」「支え合い」を重視します。

学校経営の6つの柱

1.【人権】

行動する人権教育

互いの個性を尊重し、規範を守り、共に課題を解決する実践力を育てます。



2.【伴走】

チームで支える支援体制

教職員が一人では抱え込まず、SC やSSW等の外部機関とも連携して生徒を支えます。



3.【安全】

命を守り、助け合える力

自他の生命尊重を基礎に、日常生活の安全確保と、災害時に地域で助け合える知識・行動力を身につけます。



4.【学び】

「できた!」を実感する授業

ICTを武器に、主体的・対話的な学びを通して、一人ひとりが「成長の手応え」を得られる場面を工夫します。



5.【多様性】

誰もが居心地よい集団

多様な価値観を尊重し、自己や相互の理解を深めることで、すべての子どもにとって安心できる居場所をつくります。



6.【共創】

地域・保護者と創る「社会への一歩」

学校運営協議会(CS)やPTAと連携し、生徒の社会参画の意識と自己肯定感を高める取り組みを協働で進めます。



校務分掌4グループの連携による推進体制と具体的取組

学びと成長をつなぐ

心とつながりに
寄り添う

健康と地域の
輪を守る

幸せを支える
環境づくり

をテーマに教育活動を支えます。



ICT活用による
「学びの見える化」
学習の手応えをデジタルで記録・共有し、学びのプロセスのタイムリーな発信に努めます。

地域での 「本物の出番」の創出

総合的な学習の時間などを通じ、地域の専門家と交流し、地域社会に関わることで自己有用感を高めます。



ゆとりある教育環境の整備:

校務DXの実施や事業内容の見直しにより、「生徒との対話」や「教材研究」などの時間を確保し、質の高い教育の土台をつくります。

